

一、宗慶寺東堂老師の葬儀に随喜して

昭和三十五年から、平成二十二年まで、住職

昨晚の現方丈様の挨拶で

「今年の今頃、亡くなった方の檀家さんの礼参りの折に

『ばかい時亡くなったね、花見ながら。俺もこんな時に逝きたいね』

『願わくは花の下にて春死なん そのきさらぎの望月のころ』と、西行法師の詩を詠まれていた。その通りになった。

四月十二日の朝まで、朝のお勤めをしておられた。

最後まで生き切ったのではないか」。

二、人生をあきらめる↓諦める

すべてを運命に任せて心を決めること

四諦の教え

苦諦：人生は苦である真理 例え、四苦(生老病死の苦しみ)

集諦：じつたい人生の苦しみの原因に関する真理

滅諦：苦の滅した状態、あらゆる煩惱や束縛からはなれた境涯

道諦：苦を滅する方法に関する真理

生まれること、老いること、病気になること、死ぬことなど、いま生きていることの世のことは、全て自分の思い通りにならないことだとあきらめること

自分の力ではどうしようもないと諦めた上でどのように生きていくかをお釈迦様は説かれている。

三、今年、二月に九十六歳で亡くなられた川瀬トメさんのこと